



発行所 〒107-0052 東京都港区赤坂7丁目5番38号 公益社団法人 日本PTA全国協議会 発行人 佐藤秀行 電話 03(5545)7151 FAX 03(5545)7152 ホームページアドレス http://www.nippon-pta.or.jp/

綱領
本会は、教育を本旨とし、特定の政党や宗教に偏ることなく、小学校及び中学校におけるPTA活動を通じて、我が国における社会教育及び家庭教育の充実に努めるとともに、家庭、学校、地域の連携を深め、子どもたちの健全育成と福祉の増進を図り、もって社会の発展に寄与する。

主な内容
1・2面
○年次表彰式 ○即位礼関係儀式参列
3面
○令和元年度教育関係23団体全国集会 ○参議院文教科学委員会
4・5面
○各ブロック研究大会の報告
6面
○令和2年度第42回全国小・中学校PTA広報紙コンクール実施について ○日本PTA協賛事業推薦
7面
○令和2年度三行詩コンクールについて ○富山大会一次案内 ○BPプロジェクトに関して
8面
○協議会代表者会・パネルディスカッション

令和元年度年次表彰式開催

活動の活性化けん引 優良PTAなどを表彰

本日は、文部科学副大臣・亀岡偉民様、参議院文教科学委員会委員長・吉川ゆうみ様をはじめ、多くの来賓の皆様にご列席をいただき、令和元年度公益社団法人日本PTA全国協議会年次表彰式が挙行されますことに感謝を申し上げます。



式辞
公益社団法人日本PTA全国協議会
会長 佐藤 秀行

明るい子どもたちの未来を築こう

令和元年11月15日(金)、東京都千代田区のホテルニューオータニにおいて、令和元年度公益社団法人日本PTA全国協議会年次表彰式が多数の来賓をお迎えし盛大に開催されました。今年度受賞したのは、文部科学大臣表彰129団体、日本PTA会長表彰(団体)117団体、日本PTA会長表彰(個人)233名、そして全国大会感謝状が2名に送られました。また、第41回全国小・中学校広報紙コンクールの表彰式も併せて行われ、42団体が表彰されました。

また、全国より、この日のためにお集まりいただきました各賞を受賞される皆様、本当におめでとうございます。PTAは、子ども達を中心

に置いて、保護者である私達人が学んで、学校においては、先生方と協力をし、また、地域の皆さんと連携をしていくことで、子ども達を育てていくという社会教育関係団体でございます。

今年、特に台風や大雨の被害が全国各地でございまして、この日本列島に住むということは、この自然災害と戦ってきた歴史でもあります。その中で、やはり地域の皆さんと一緒に、何もない時から勉強していくことが、日本人なんだと考えています。PTAとは、そういうような地元の人たちと手を組んで、様々な活動を行うという入り口については、大変良い組織だと思います。

昨年、日本PTA全国協議会が創立70周年を迎えました。この同じ場所で、昨年は、当時の皇太子同妃両殿下の御臨席を賜り、ここで記念式典が

開催されました。その記念式典で、皇太子殿下は「皆さんが手を携えて、次代を担う児童・生徒たちの健全な育成のため、今後とも家庭・学校・地域の懸け橋となり、一層力を尽くしていけることを期待しています。」と述べられました。私はその言葉を聞いたときにPTAの重要性を、大変な御理解をいただいていると感じました。



また、昨日から今朝にかけて、大賞祭の一連の儀式に参

列をして参りました。これらの行事に参加して感じたことは、PTAというこの組織は、任意団体とか、加入はそれぞれだとか、議論が出ていますが、PTAはそういうことを議論する団体ではないのではないかと、もっともっと重要な役割を私達は担っているのだということなんです。

ら教育を少しでも推進して行くという団体であるのではないかなと感じております。

本日は皆様の晴れの舞台をスタッフ一同、準備をいたしました。最後の祝賀会まで楽しんでいただきたいと思います。このように感じております。今日は一日、よろしく申し上げます。

そして、明るい子ども達の未来のために、働いていきたいと思います。そのように皆さんに大変な期待をしております。私も、役職を終えても、一生懸命やっ



祝辞
文部科学副大臣
亀岡 偉民氏

PTAは地域子育ての中核

皆さんこんにちは。先般の台風15号又は19号、さらにはその後の集中豪雨で亡くなられた方々に心から哀悼をお祈り申し上げるとともに、被災に遭われた方々に心から御見舞いを申し上げます。この異常気象の中で、何が起るか分からない中で、PTAの皆様方にもしっかりと子ども達の環境を守っていただいていること、感謝申し上げます。

令和の新しい時代を迎え、社会が大きく変化する中、これからの時代を生きる子ども達が自律的に様々な課題に向き合い、社会の一員として豊かな未来を切り開いていくために必要な資質・能力を育成することが出来るよう、文部科学省としても様々な改革を進めているところであります。特に来年度からは、新しい学習指導要領による教育が小学校から順次始まります。教師が子ども達の指導に使命感を

(2面に続く)

佐藤会長が即位礼関係儀式へ参列

佐藤会長は国事行為である国の儀式として行われた10月22日(火)の即位の礼正殿の儀(於：皇居・宮殿)、10月31日(木)の饗宴の儀(於：皇居・宮殿)及び皇室の行事として行われた11月14日(木)・15日(金)の大嘗宮の儀(於：皇居・東御苑)、11月18日(月)の大饗の儀(於：皇居・宮殿)に参列しました。佐藤会長は、即位の礼正殿の儀においては各界代表として、皇室関係、立法機関、行政機関、司法機関、元三権の長、地方公共団体及び外交関係の参列者とともに皇居・宮殿において執り行われた伝統ある儀式に立ち会いました。



即位の礼にて賜った御品

(1面から続き)

持って、より専念できるよう学校における働き方改革を推進し、義務教育における基礎・基本の習得の上、子ども達の個性を伸ばし、多様性のある教育の実現に向けて引き続きしっかりと取り組んでまいります。

一方、子ども達を取り巻く環境・状況としては、児童虐待やいじめ等の問題も懸念されています。こうした問題にも適切に対処し、子ども達が学校や地域で生き生きと活動し、健やかに成長するために、家庭そして地域・学校がそれぞれの役割と責任を果たす。

OB・OGらと社会教育充実を

謝辞

受賞者代表

足田 啓二氏



大分県の足田でございます。令和元年度日本PTA・文部科学省年次表彰式にあたり、被表彰者を代表し謝辞を申し上げます。日本PTAを引率する佐藤会長、文部科学省萩生田大臣をはじめご来賓の皆様より沢山、身に余る祝辞をいただきました。そしてこの会場準備ありがとうございました。

すとも相互に連携協力し、地域社会で子どもたちを見守り育てることが必要であります。PTAで活躍されている皆様は、その中核とも言える存在です。文部科学省としてもPTA活動に熱心に取り組んでいただいている皆様と手を携え、我が国の教育の一層の充実に努めてまいります。今後とも御支援御協力をお願い申し上げます。結びに、日本PTA全国協議会の益々の御発展と、本日御参加の皆様御活躍を祈念申し上げ、お祝いの言葉とさせていただきます。

た。子ども達の健全な育成と大人の生涯教育・社会教育を子ども達・保護者・教員と共に汗をかき、子ども達の笑顔に癒され、頑張りを感じていただける日々を過ごしてまいりました。本日に、皆様に背中を押していただき、御協力・御尽力をしていただき、楽しい、素晴らしいPTA活動をおくる事が出来ました。活動の中で得たものは沢山ありますが、子ども達の成長して行く姿、そして日本全国の皆様と絆が出来たこと、また、自分が成長出来たことです。多くの事業、会議、ヒートアップしてご迷惑をかけた方々、そして電話で失礼ながら色々なことを、お願いをした方々、そして、私共を支えていただきました事務局長の皆様方、この場をお借りして心よりお礼を申し上げます。最後に、冒頭、式辞の中で佐藤会長より、子どもを中心に置いて、先生そして地域と連携する・連携できる素晴らしい団体だというお言葉がありました。昨今では、PTAの不要論、そしてPTA辞めたなど、報道や議論に寂しい思いを感じます。私共OB・OGも地域の発展・活性化のために、まだまだ成長して行かなくてはなりません。地域に学校がなくなり、少子高齢化となり、地域に子どもがいない、子どもが地域に帰ってこない、地域が無くなっていく、それを解決していくには、色々な団体と協力も必要であります。まずは、ここまで作り上げてきたPTAのコミュニケーションを活用し、今後の活動に取り組んで行きたいと切に願います。

私共OB・OGは、地域の一人として社会教育の充実、地域の活性化の一員となることをここで約束いたします。最後に次世代を担う子ども達の健全育成と日本PTAの益々の発展、そして全国での御活躍を心から祈念いたしまして、謝辞といたします。最後に、胸を張って言います。PTA大好きです。ありがとうございました。



令和元年度日本PTA年次表彰式

文部科学省・公益社団法人日本PTA全国協議会

第41回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール表彰式



第41回 全国小・中学校PTA広報紙コンクール受賞団体

令和元年度 教育関係23団体全国集会

計画的な教職員定数改善、ICT環境整備推進を



日本PTA全国協議会、全国連合小学校長会など教育関係23団体で構成する「子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会」は、令和元年10月9日(水)に東京都千代田区の参議院議員会館講堂に於いて、「子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現と学校における働き方改革のための指導・運営体制の構築等を求める全国集会」を開催しました。

教育関係者及び本集会の趣旨に賛同される国会議員等約300名が出席し、日本PTA全国協議会からは佐藤会長以下7名が出席しました。

開会後、教育関係団体代表者として、本会の佐藤秀行会長が挨拶を行いました。その後、文部科学省挨拶(秋生田光一文部科学大臣)等があり、最後に、計画的な教職員定数の改善や学校のICT環境整備の推進を求めるアピールを採択し閉会となりました。採択されたアピールは以下のとおりです。

子供たち一人一人に対するきめ細かな教育の実現と学校における働き方改革のための指導・運営体制の構築等を求めるアピール

次代を担う子供たちの健全な成長は、すべての大人たちの願いであり、子供たちが全国どこに生まれどんな家庭環境で育ったとしても、等しく良質な学校教育を受けられるようにすることは、私たち大人、そして国の責務です。

高い水準の豊かな教育を実現するためには「教職員の資質の向上と数の充実」が不可欠です。とりわけ近年、学校や子供たちを取り巻く状況は、ますます複雑化、多様化、困難化しており、学校における働き方改革は急務となっています。こうした状況に対処するためには、新学習指導要領の実施を見据え、教職員の指導・運営体制の充実を強く推進するとともに、教員以外の人材の活用と業務改善の取組を一体的に推進し、チーム学校が機能する体制を整備していくことが非常に有効な手段であると考えます。

今必要なのは、日本の未来を担う子供たちの力をきめ細かな指導によって育てるための持続可能な学校の指導・運営体制の構築と、そのための教育投資です。

加えて、小・中学校のみならず、高等学校、特別支援学校等のあらゆる学校の教育環境の改善を実現し、より一層の良質な教育を子供たちに約束することが、私たち教育に携わる者の責務であります。

以上のことを踏まえ、私たちは日本のすべての人々に、次の事項の実現を強くアピールします。

一、子供たち一人一人に向き合ったきめ細かな教育の実現及び新学習指導要領の円滑な実施に向けた対応として、小学校における専科指導の充実、中学校における生徒指導や支援体制の強化、貧困等に起因する学力課題の解消など計画的な教職員定数の改善を進めるとともに、令和二年度予算においては、これらに必要な人的措置・財政措置を確実に行うこと。

一、教育現場が抱える様々な課題への対応や教員の負担軽減による教育の質の向上を図るため、スクールカウンセラーやスクールソーシャルワーカーの配置促進やSNS等を活用した相談事業を推進するとともに、スクール・サポート・スタッフや部活動指導員の配置促進を進めること。

また、東日本大震災をはじめとする地震や豪雨などの自然災害により被災した児童生徒のための教職員やスクールカウンセラーによる支援を今後も継続的に行うこと。

一、学校のICT環境を改善し、より一層の質の高い教育活動を実現するため、一人一台の学習者用コンピュータ及び学校における高速かつ大容量の通信ネットワークの整備を進めること。

一、意欲と情熱をもって教育に取り組む優れた教職員を確保するため、人材確保法の趣旨をふまえた措置とともに、教育の機会均等とその水準の維持向上を図るため、その根幹となる義務教育費国庫負担制度を堅持すること。また、地方財政を圧迫し、人材確保に支障を生じたり、地域間格差が生じたりすることのないよう、義務教育費国庫負担金及び地方交付税の財源確保を行うこと。

一、教育投資は未来の日本への先行投資であり、国の最重要事項であることから、右に掲げる諸方策の実現にあたっては、既存の教育予算の削減や付け替え等によるのではなく、計画的・安定的な財源確保を行うこと。

令和元(二〇一九)年十月九日

子どもたちの豊かな育ちと学びを支援する教育関係団体連絡会

- 日本PTA全国協議会、日本教育会、全国市町村教育委員会連合会、全国都市教育協議会、中核市教育長会
- 全国町村教育長会、全国連合小学校長会、全日本中学校長会、全国公立小・中学校女性校長会、全国特別支援学校校長会
- 全国連合退職校長会、全国高等学校校長協会、全国公立中学校教頭会、全国特別支援教育推進連盟、全国(こ)教育研究連盟
- 日本連合教育会、全国養護教諭連絡協議会、全国公立小中学校事務職員研究会、全国学校栄養士協議会、日本教職員組合
- 全日本教職員連盟、日本高等学校教職員組合、全国教育行政職員団体協議会

東川顧問 参議院文教科科学委員会に参考人出席

働き方改革で意見述べ

令和元年11月28日(木)、参議院文教科科学委員会に東川顧問が参考人として出席し、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案(関法第一四号)(衆議院送付)について、意見陳述をし、質疑が行われました。東川顧問は、中央教育審議会初等中等教育分科会学校における働き方改革特別部会前委員であることから、参考人として出席を要請されたものです。

概要

○我が国の教師の業務は長時間化しており、近年の実態は極めて深刻。

○持続可能な学校教育の中で教育成果を維持し、向上させるためには、教師のこれまでの働き方を見直し、子供たちに対して効果的な教育活動を行うことが急務。

○このため、学校における働き方改革を推進するための総合的な方策の一環として、以下の措置を講ずるよう、公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法(給特法)の一部を改正する。

1. 一年単位の変形労働時間制の適用(休日のまとめ取り等)【第5条関係】

○夏休み等児童生徒の長期休業期間の教師の業務の時間は、学期中よりも短くなる傾向。

○学期中の業務の縮減に加え、かつて行われていた夏休み中の休日のまとめ取りのよう集中して休日を確保すること等が可能となるよう、公立学校の教師については、地方公共団体の判断により、一年単位の変形労働時間制の適用を可能とする(※)。

※改正の内容

・一年単位の変形労働時間制を規定した労働基準法第32条の4(地方公務員は地方公務員法第58条により適用除外)について、公立学校の教師に対して適用できるよう、地方公務員法第58条

の読み替え規定を整備する。その際、労働基準法において労使協定により定めることとされている事項(対象となる労働者の範囲、対象期間、労働日ごとの労働時間等)については、勤務条件条項主義を踏まえ、条例により定めることと読み替える。

2. 業務量の適切な管理等に関する指針の策定【第7条関係】

○公立学校の教師が所定の勤務時間外に行う業務の多くが、超過勤務命令によらないものであること等を踏まえ、文部科学大臣は、公立学校の教師の健康及び福祉の確保を図ることに伴い、学校教育の水準の維持向上に資するため、教育職員の業務量の適切な管理等に関する指針を定めるものとする。

施行期日

1. 一年単位の変形労働時間制の適用(第5条関係)については令和3年4月1日

2. 業務量の適切な管理等に関する指針の策定(第7条関係)については令和2年4月1日

公立の義務教育諸学校等の教育職員の給与等に関する特別措置法の一部を改正する法律案の概要

趣旨

公立の義務教育諸学校等における働き方改革を推進するため、教育職員について一年単位の変形労働時間制を条例により実施できるようになるとともに、文部科学大臣が教育職員の業務量の適切な管理等に関する指針を策定及び公表することとする。



日本PTAブロック研究大会

中学生も参加した特別分科会

第66回日本PTA北海道ブロック研究大会札幌大会

○期日 令和元年 10月12日・13日
○場所 札幌市教育文化会館・ホテルロイトン札幌



北海道ブロック研究大会札幌大会が、約1200名の会員を迎え、北の都「札幌」で開催されました。
一日目は札幌市教育文化会館、ホテルロイトン札幌の2会場で5つの分科会と2つの特別分科会が開催され、二日目は、札幌市教育文化会館大ホールで、全体会、記念講演、閉会行事等が行われました。
一日目の各分科会では、それぞれのテーマに基づき、各単位PTAや各地区の特色あるPTA活動の取組の発表があり、PTAとコミュニティスクール、子どもとのかかわりを深める説明力、学校がもつと元気になるPTA活動、明日の地域を支える子どもたち子育ては食育からなど、様々な視点から熱心な研究協議が行われました。
また、特別第1分科会「中



学生討論会」では、「夢に向かって一歩踏み出そう！失敗を恐れず挑戦する勇気」をテーマに講演と8校の中学生によるワールドカフェ形式による討論会が行われ、特別第2分科会では「必修！プログラミング教育!?」導入期に望ましい理解とかわり方を」をテーマに、基調講演とパネルディスカッションが行われました。
二日目は全体会と記念講演を行い、最後に閉会行事で札幌から次期開催地の函館に大会旗を引き継ぎ、来年度の函館大会での再会を約束して大会を終りました。

台風直撃 全大会式典のみ挙行

第51回日本PTA関東ブロック研究大会千葉市大会全体会式典

○期日 令和元年 12月6日
○場所 ホテルポートプラザちば



第51回日本PTA関東ブロック研究大会千葉市大会は、台風19号の関東直撃により、安全を最優先に判断し、開催中止となりました。
「磨こう 親の背中」千葉の郷からミライへつなぐ」をスローガンに掲げ、大塚義生大会長、星野正昭実行委員長の下で実行委員会を組織し、約三年を費やして準備してきました。一日目の六つの分科会、二日目の全体会を合わせて参加申込み数は2550名、運営するスタッフは総勢400名という規模でした。
実行委員一同、ただただ茫然自失の中、関東ブロックPTA協議会の臨時会長会議開催に合わせ、全体会式典のみを急遽行うことにしていたことができました。
当日は日本PTA全国協議会会長の佐藤秀行様をご来賓



各協議会会長と東京都小・中PTA協議会会長、感謝状受賞者のほか、千葉市からも実行委員・千葉市P連役員など総勢約60名が参加しました。全体会で予定していた尾木直樹氏の記念講演をはじめ、分科会講師のご指導や参加者によるディスカッションはできませんでしたが、大会宣言が採択され、感謝状の授与やとちぎ大会への大会旗の引継ぎも無事終了しました。式典は終始厳粛な中にも温かな雰囲気で行いました。
分科会で発表予定だった研究発表校の方々から届いた紙上提案は大変充実したものであり、大会報告書として発行できることとなりました。この場をお借りし、ご支援・ご協力をいただいた皆様により感謝申し上げます。

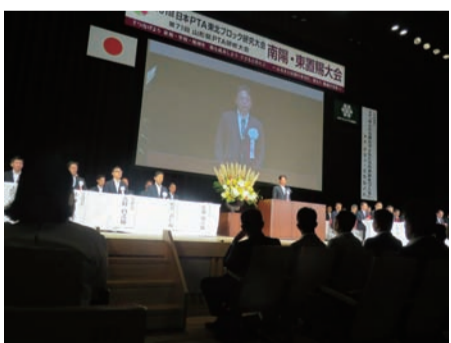
社会総掛かりでの教育を共有

第51回日本PTA東北ブロック研究大会南陽・東置賜大会

○期日 令和元年 9月7日・8日
○場所 分科会 山形県南陽市シエルトーナールホール他4会場
全体会 山形県南陽市シエルトーナールホール(南陽市文化会館)

第51回日本PTA東北ブロック研究大会南陽・東置賜大会が大会主題「つなげよう 家庭・学校・地域を 親も成長しよう 子どもと共にふるさとは国の本なり、育もう」として、子どもと共にふるさとは国の本なり、育もうと、去る9月7日・8日に東北各地から1822名の会員が集い、東洋のアルカディアと称された山形県南陽・東置賜地区で開催されました。
一日目の第1～第6までの分科会では、それぞれの研究課題に対する基調講演・実践発表があり、和やかな中にも熱心な議論が行われました。特に第1分科会「家庭・

二日目の全体会では、川西中学校郷土芸能クラブによる山形県の無形民俗文化財指定「小松豊年獅子踊」のアトラクションで幕を開け、「あふれる愛が子どもたちの未来をつくる」と題しインドネシア元大統領夫人デヴィ・スカルノ氏から「講演いただきました。講演では、幼いころの貧しさや戦争の体験、大統領夫人であるが故のご苦労などの話もありましたが、ご主人と死別後娘さんを一人で育てた経験から、子どもたちにはたくさん愛情を注ぎ多くの経験をさせてあげることが大切だと訴え、「花に水が必要なのように、子どもには親の愛情が必要だ」と語られました。また、フランスでの教育方針を紹介し「幼少期に誇りや自信、達成感を持たせることが大切。その喜びを社会に還元できる子どもたちを育てて欲しい」との言葉に多くの参加者が共感し、充実した自己研鑽の場となりました。
最後に、愛して止まない子どもたちのためにPTA活動がさらなる充実・発展を遂げよう、そして、来年度の会津若松大会での再会を願いがら大会を終りました。



ブロック研究大会 (一覧)

大会名	開催日時	記念講演
第66回日本PTA北海道ブロック研究大会 札幌大会	10月12日・13日	酒井 邦嘉
スローガン	親の実りは 子どもの実り ～家庭・学校・地域のより一層の連携を目指して、学び合おう～	
第51回日本PTA東北ブロック研究大会 南陽・東置賜大会	9月7日・8日	デヴィ・スカルノ
スローガン	つなげよう 家庭・学校・地域を 親も成長しよう 子どもと共に ～ふるさとは国の本なり、育もう 地域の宝を～	
第51回日本PTA関東ブロック研究大会 千葉市大会 全体会式典	12月6日	-
スローガン	磨こう 親の背中 ～千葉の郷からミライへつなぐ～	
第75回日本PTA東海北陸ブロック研究大会 三重大会	10月18日・19日	金澤 泰子・金澤 翔子
スローガン	「三重の輪」からひろがる新時代、家庭の輪・学びの輪・地域の輪 ～子どもたちの未来へ～	
第49回日本PTA中国ブロック研究大会 広島市大会	11月2日	渡部 陽一
スローガン	伝えよう思いやりの心 広げよう平和のまち広島から ～未来へ生きる子どもたちのために Peace!～	
第48回日本PTA四国ブロック研究大会 香川大会	10月13日	北折 一
スローガン	高めよう！子どもを育む親チカラ 今こそ深める親子の「絆」	
第64回日本PTA九州ブロック研究大会 福岡県大会	10月26日・27日	鈴木 みゆき・小林 さやか
スローガン	新しい時代を共に歩むPTA ～家庭・学校・地域がつながり、高めよう「親力」～	

書道家親子招き 感動の全大会

第75回日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会

○期日 令和元年 10月18日・19日
○場所 分科会 三重県勢理(津市) 松阪市 多紀町 伊賀市 桑名市 6会場
全体会 津市産業スポーツセンター サオリーナ

東海北陸地区6県1市から2600名を超える参加者を迎え、津市を中心に松阪市・多紀町・伊賀市・名張市の6か所を会場に、第75回日本PTA東海北陸ブロック研究大会三重大会が開催されました。

大会テーマを『三重の輪』からひろがる新時代「家庭の輪・学びの輪・地域の輪」子どもたちの未来へ』のもと、一日目の分科会では、6会場11単位PTAおよび郡市PTAによる「家庭教育」・「学

参加者負担軽減へ 運営を工夫

第49回日本PTA中国ブロック研究大会広島市大会

○期日 令和元年 11月2日
○場所 広島国際会議場 フェニックスホール (広島平和祈念公園内)

令和元年11月2日に開催された第49回日本PTA中国ブロック研究大会広島市大会では大変多くの会員の皆様にご来場いただくことができました。

この度の大会ではスローガンを「伝えよう思いやりの心 広げよう平和のまち広島から」未来へ生きる子どもたちのために「Parent」として、「国際平和文化都市広島」だからこその大会を念頭に前年度から準備を進めてまいりました。

スローガンに沿ったプログラムとなるよう内容を精査し、



ださるのです」という多くの言葉を聞き、世界一の母親だと思えるそうです。ダウン症の子どもを育てた経験を通して講演から、参加者は多くの感動と学びを得ることができました。



参加された方々にとって、この研究大会が、子どもたちの未来を育む有意義な研修の場となることも、これからのPTA活動のあり方を考える良い機会になったものと思っています。

場者へのおもてなしが滞りなくとも懸念されましたが、アンケート結果ではスタッフの人数が少ないと感じた方はほとんどなく、来場者へご不便をおかけするようないことはなかったよ、これもこの度の大会の一つの成果であったと考えます。

残すべきものは残り、変え



親子の絆深めた ディスカッション

第48回日本PTA四国ブロック研究大会香川大会

○期日 令和元年 10月13日
○場所 丸亀市綾歌総合文化会館 アイレックス

元NHK「ためしてガッテン」演出担当デスクの北折一氏に「ガッテン流！子どもが変わるプレゼン技法」演出家の発想法のススメの演題で基調講演をしていただき、香川大学教授の清國祐二氏をコーディネーターに迎え、四国4県の代表者による「親子の絆」を深めるPTA活動のテーマで実践発表を交えたパネルディスカッションを行いました。

講演を聞いた参加者からは、「大変おもしろくて、参考になった」、「そういう発想の仕方があるのだと分かり、ためになった」と言う声が多数届きました。

そして、実践発表を聞いて、「自分の単位PTAでの活動に取り入れてみたい」という声も聞こえてきました。



高まった「親力(おやぢから)」

第64回日本PTA九州ブロック研究大会福岡県大会

○期日 令和元年10月26日・27日
○場所 マリンメッセ福岡 他

本大会は、「新しい時代を共に歩むPTA(家庭・学校・地域)つながり、高めよう親力(おやぢから)」を大会スローガンに掲げ、九州各県、政令市から8200名を超えるPTA会員が参加し、盛会のうちに無事終了することができた。

本大会では、子育てを通して保護者も学び共に成長していくことを「親力」と定義し、一日目の分科会では、「変わる」「気づく」「広げる」「つなげる」「育てて育つ」「共に生きる」「見極める」「備える」「郷土を愛する」の九つの「親力」を討議題とし、提言発表をもとに活発な意見交換や討議が行われた。

二日目の全体会記念講演では、『「親力」更に高めて、子どもたちの未来を創造しよう』と題し、鈴木みゆき氏、小林さやか氏による対談が行われ、ピリギヤルを経験し、親から学んだ教育、見守りなどについて、笑いを交えたお二人の掛け合いで、「親力」を更に高めるために充実した素晴らしい講演であった。

また、初めての試みで新羅慎二氏による「エンディングスペシャルLIVE」を行い、情熱的な演奏に会場全体がひとつになり、心に残る感動を与えた。

この研究大会を機に、未来を託す子どもたちを育てるために私たちが「親力」を高め、家庭・学校・地域が更に強くなるPTA活動が一層活発に行われることを期待したい。



「日本PTA協賛事業推薦」について

日本PTAが推薦する物品を紹介しします

日本PTAでは、児童・生徒等の学校教育、家庭生活上価値が高く、広く利用促進普及させることが適当と認められる物品を協賛事業推薦委員会において審査を行い決定し、推薦しています。推薦期間は1年間です。
3月10日現在、推薦商品は表のとおりです。なお、映画の推薦事業も行っております。



ご注意ください!

実際は推薦されていないにも関わらず「日本PTA推薦」と表示している商品があるという報告が届いています。現在、日本PTAが推薦しているものは、表の商品が全てであり、推薦期間は決定から1年間です。推薦期間が過ぎたもの、過去に推薦を受けた際の表示が残っているものもありますが、全く推薦を受けていない商品でも表示されている場合がありますのでご注意ください。
そのような虚偽の表示をしている商品がございましたら、日本PTAまで、ご一報いただけますと幸いです。

令和2年度 第42回全国小・中学校PTA広報紙コンクール実施について

今回で42回目を迎える「全国小・中学校PTA広報紙コンクール」。令和2年度も実施します。全国の広報委員の皆さまの熱意溢れる作品の応募を、心からお待ちしております。

1 趣旨

日本PTA全国協議会傘下の公立小・中学校で発行するPTA広報紙作品を広く募集し、優秀作品を表彰・公開することにより、PTA広報活動の活発化を促進し、PTA活動の一助となることを目的とする。

2 主催

公益社団法人日本PTA全国協議会

協賛

日本教育新聞社(予定)
教育家庭新聞社(予定)

後援

文部科学省(予定)

3 応募の対象

平成31年4月から令和2年3月までに発行されたすべての号を1部送付。
原則として、2回以上発行されたものに限る。

現状のまま送付(複製やコピーは不可、CD不可、補強のための表紙などは付けない)。

4 募集期間

各単位PTAは、令和2年5月29日(金)までに、各地方協議会に送付。各地方協議会は、第1次審査を終えた作品を、令和2年6月19日(金)までに、公益社団法人日本PTA全国協議会事務局へ送付。

5 審査基準

PTA広報紙のもつ目的・使命・記事の内容・編集方法・レイアウト・見出し・文章などについて総合的に審査する。

令和元年度協賛事業「推薦会社一覧」

令和2年3月10日

会社名	推薦期間	商品名
ヤフー(株)	2019年4月1日～2020年3月31日	Yahoo!MAP (ios/Android アプリ) 内の防犯マップ機能
(株)マガジンハウス	2019年5月1日～2020年4月30日	君たちはどう生きるか
(株)マガジンハウス	2019年5月1日～2020年4月30日	漫画 君たちはどう生きるか
NTTコミュニケーションズ(株)	2019年4月1日～2020年3月31日	マイセキュア
ショウワノート(株)	2019年4月1日～2020年3月31日	ジャポニカ学習帳シリーズ (ジャポニカ、イラスト、フレンド、キャラクター、カスタム)
KDDI(株)	2019年5月1日～2020年4月30日	mamorino5 (マモリーノファイブ)
KDDI(株)	2019年5月1日～2020年4月30日	miraie F (ミライエ フォルテ)
AIG損害保険(株)	2019年5月1日～2020年4月30日	傷害保険 (こども総合保険、ベーシック傷害保険等)
アルプスシステムインテグレーション(株)	2019年4月1日～2020年3月31日	「Inter Safe WebFilter」 (フィルタリング及び関連するフィルタリングサービスの提供)
(株)学研プラス	2019年5月1日～2020年4月30日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「エアコンのひみつ」
トレンドマイクロ(株)	2019年6月1日～2020年5月31日	ウィルスバスターfor Home Network
エースチャイルド(株)	2019年6月1日～2020年5月31日	子どもセキュリティ「Fili (フィリ)」
(株)学研プラス	2019年7月16日～2020年7月15日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「こうや豆腐のひみつ」
(株)学研プラス	2019年7月16日～2020年7月15日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「真珠のひみつ」
(株)学研プラス	2019年8月1日～2020年7月31日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「多目的作業車のひみつ」
パナソニック(株)ライフソリューションズ社	2019年6月1日～2020年5月31日	LED照明器具 (LEDシーリングライト) LED照明器具 (LEDデスクスタンド) LED照明器具 (LEDペンダントライト)
デジタルアーツ(株)	2019年8月1日～2020年7月31日	「i-フィルター」/「i-FILTER」
(株)学研プラス	2019年9月1日～2020年8月31日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「雷のひみつ」
トレンドマイクロ(株)	2019年9月1日～2020年8月31日	ウィルスバスターシリーズ (令和元年度秋発売予定新製品及びモバイル端末向け製品を含む)
サンスター文具(株)	2019年8月1日～2020年7月31日	学習ノート
ソフトバンク(株)	2019年8月10日～2020年8月9日	キッズフォン
ジブラルタ生命保険(株)	2019年12月1日～2020年11月30日	ベルマーク付生命保険
(株)学研プラス	2019年12月10日～2020年12月9日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「台湾のひみつ」
NECプラットフォームズ(株)	2019年12月1日～2020年11月30日	Atermシリーズ こども安心ネットタイマー
(株)カスペルスキー	2020年2月1日～2021年1月31日	カスペルスキーセキュリティ
日立グローバルライフソリューションズ(株)	2020年2月1日～2021年1月31日	LEDシーリング「まなびのあかり」搭載タイプ
象印マホービン(株)	2020年2月21日～2021年2月20日	ステンレススクールボトル、ステンレスボトル
クソツ(株)	2020年3月1日～2021年2月28日	学童用筆入
(株)学研プラス	2020年6月1日～2021年5月31日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「パスタのひみつ」
(株)学研プラス	2020年4月1日～2021年3月31日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「建設機械 提案サービスのひみつ」
(株)学研プラス	2020年4月1日～2021年3月31日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「銅のひみつ」
(株)学研プラス	2020年4月1日～2021年3月31日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「セメントのひみつ」
(株)学研プラス	2020年4月1日～2021年3月31日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「石川県のひみつ 伝統工芸」
(株)学研プラス	2020年4月1日～2021年3月31日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ 「燃料電池自動車のひみつ・新版」
(株)学研プラス	2020年4月1日～2021年3月31日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ特別編 「みんなを支える生命保険」～生き方と自助のひみつ～
(株)学研プラス	2020年2月10日～2021年2月9日	書籍 学研まんががよくわかるシリーズ特別版 「エキナカのひみつ」～東京駅ってすごい!～
(一社)家の光協会	2020年4月1日～2021年3月31日	月刊誌 ちゃぐりん
エクスセル(株)	2020年4月1日～2021年3月31日	エスパー学生服上下

令和2年度「楽しい子育て全国キャンペーン」

「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」

◆三行詩実施要綱◆

1. 趣旨

都市化や核家族化、少子化など、子育てや家庭教育を支える地域の環境が変化している。そこで、改めて家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずな・家庭のルール、「早寝早起き朝ごはん」といった子どもたちの基本的な生活習慣づくりなど、家庭教育の大切さや命の大切さについて、家族で話し合い一緒に取り組むことを社会全体に呼び掛けていくため、これらをテーマとする三行詩を募集し、表彰を行う。

2. 主催

公益社団法人日本PTA全国協議会
後援 文部科学省、厚生労働省、「早寝早起き朝ごはん」全国協議会(予定)

3. 概要

募集対象…小学生・中学生と保護者、教職員等
募集内容…「家庭で話そう！我が家のルール・家族のきずな・命の大切さ」に関する三行詩

三行詩とは、三行程度の短文の意味合いであり、必ずしも三行である必要はなく、俳句のようなものでも構わない。

・家族の会話やコミュニケーションから育まれるきずなや家庭のルール、子どもたちの基本的な生活習慣づくりなどの家庭教育、一人一人の命のつながりや大切さをテーマとして短文中で表現したものであること。
・家庭での日常の出来事や、学校や地域でのエピソードをもとに、家族で話し合った上記テーマに沿った作品

であること。

募集方法…

- ① 公益社団法人日本PTA全国協議会のホームページに掲載
 - ② 地方協議会を通じて、各小学校、中学校PTA等にて募集
 - ③ 教育委員会等を通じて、その他の各小学校、中学校等にて募集
- 募集期間…
令和2年5月7日(木)
～令和2年6月18日(木)
- 応募方法…
募集チラシの裏面にある「応募用紙」又は、公益社団法人日本PTA全国協議会ホームページに掲載する所定の「応募用紙」、あるいは、A4サイズの用紙に、氏名(ふりがな)、年齢(学年)、住所、電話番号、学校名等、三行詩を記入の上、以下の応募先に提出する。

〈子どもが公立学校に在籍する場合〉

- ・子どもが在籍する学校等へ提出。
- ・各学校PTAが取りまとめをし、各所属の都道府県・郡・市・指定都市のPTA連合会・協議会等へ提出する。

・地方協議会において、応募のあった作品の選考を行い、小学生、中学生、一般の各部それぞれ5点を上限として第1次選考を行い、7月17日(金)までに公益社団法人日本PTA全国協議会に推薦する。

〈その他の場合(私立学校や国立大学法人附属学校に在籍・所属先が不明の場合)〉

・各学校PTA等で取りまとめをし、7月2日(木)までに公益社団法人日本PTA全国協議会に推薦する。

BPPプロジェクト 令和元年度 いじめ防止支援シンポジウムに参加

令和2年2月9日(日)ステーションコンファレンス東京に於いて、「BPPプロジェクト

令和元年度いじめ防止支援シンポジウム」が宮城教育大学、上越教育大学、鳴門教育大学、福岡教育大学の主催で開催されました。公益社団法人日本PTA全国協議会は、前記の4大学で構成するBPP(Bullying Prevention)いじめ防止支援)プロジェクトに協力団体として参加しております。今回は6名が参加し、佐藤会長は来賓挨拶に登壇しました。内容は次のとおりです。

【事業紹介(各大学からの事業報告と座談会)】
宮城教育大学 准教授 久保 順也
上越教育大学 教授 林 泰成
鳴門教育大学 教授(いじめ防止支援機構長) 阿形 恒秀
福岡教育大学 副学長 大坪 靖直

【来賓挨拶】
国立教育政策研究所所長 中川 健朗

公益社団法人日本PTA全国協議会会長 佐藤 秀行

【講演】
「学校でのいじめの本質・規模・影響を世界的視野で探るーいじめ・ネットいじめ対策のためのユネスコ会議議長の警鐘ー」
ダブリンシティ大学教授/アイルランドいじめ防止研究リソースセンター所長 ジェームズ・オヒギンズ・ノーマン

【パネルディスカッション】
「日本のいじめ対策の成果と課題」
司会進行 鳴門教育大学教授(いじめ防止支援機構長) 阿形 恒秀

パネリスト
話題提供 鳴門教育大学教授 葛西 真記子
指定討論 大阪教育大学教授 戸田 有一
香川大学准教授 金剛 知征



後援 文部科学省、国立教育政策研究所、日本生徒指導学会、公益社団法人日本PTA全国協議会、東京都教育委員会、全国連合小学校長会、全

日本中学校長会、全国高等学校校長協会、全国特別支援学校長会、公益社団法人日本社会福祉会、NHK、(株)フジテレビジョン、朝日新聞社、毎日新聞社、読売新聞社、産経新聞社、一般社団法人共同通信社、(株)時事通信社、(株)教育新聞社、(株)日本教育新聞社、文教速報、文教ニュース社、ジヤス教育新社

令和元年度 日本PTA国内研修事業の中止について

新型コロナウイルス感染症の感染拡大を予防するため、2月27日に総理大臣より、全国的なイベント等の実施について、国として、その開催に係る方針が示されました。

日本PTA全国協議会といたしましても、大規模感染リスクがあることを勘案し、今回の国内研修事業について次の様に判断・決定いたしました。

令和2年3月25日(29日(4泊5日))に沖縄県渡嘉敷村にて実施される

予定であった国内研修事業は、大人数での相部屋、班活動等、長時間の話し合い活動が予定されてい

また、各空港等での不特定多数の方との接触等、安全の確保ができない状況です。

そこで、感染拡大の防止という観点から、参加生徒および関係者の健康を第一に考え、国際交流・国内研修事業を理事会決議により、中止することに決定いたしました。

第68回 日本PTA全国研究大会

第76回 日本PTA東海北陸ブロック研究大会

富山大会

2020. 8.28 (金) 分科会

2020. 8.29 (土) 全体会

富山大会 ホームページ <https://toyamataikai.jimdofree.com>

QRコード

キトキト みんなで とやまなび

～こころが今日も笑顔でありますように～

日程

分科会 8月28日(金) 富山県内10分科会(10会場)

全体会 8月29日(土) メイン会場 富山市総合体育館 第1アリーナ
サテライト会場 富山市芸術文化ホール(オーバード・ホール)

参加者 全国小・中学校PTA会員及び関係者 8,000人

参加費 一人5,000円

メインテーマ

- 大切な命を尊び、強くたくましく生きる力を育むPTA活動
- 家庭・学校・地域と共に創るPTA活動
- 郷土を愛し、郷土に誇りを持つPTA活動
- 未来を見据え、次世代に伝えつなげるPTA活動

全体会記念講演 8月29日(土)

講師 **細田 守**
アニメーション映画監督、演出家
撮影/神楽川

その後、フリーとなり、『時をかける少女』(06)、『サマーウォーズ』(09)を監督し、国内外で注目を集める。11年、自身のアニメーション映画制作会社「スタジオ細田」を設立し、『おおかみこどもの雨と雪』(12)、『バグモの子』(15)とともに監督・脚本・製作を手がけた。最新作『未来のミライ』(監督・脚本・制作)は第91回カンヌ国際映画祭、監督賞に選出され、第91回米国アカデミー賞長編アニメーション作品賞にノミネートされた。

主催 / 公益社団法人日本PTA全国協議会
東海北陸ブロックPTA協議会 富山県PTA連合会

第68回 日本PTA全国研究大会 富山大会実行委員会事務局
TEL/FAX 076-442-9147 Email:jpta-toyama68@po4.nsk.ne.jp
〒930-0096 富山県富山市舟橋北町7-1 富山県教育文化会館内

協議会代表者会

令和2年2月20日(木)国立オリンピック記念青少年総合センターのセンター棟101号室に於いて、地方協議会代表者で構成する協議会代表者会が開催されました。

なお、会議に先立ち、文部科学省等から行政説明があり、続いて会議が開催されました。

〔行政説明〕

「給食費の公会計化」

文部科学省初等中等教育局健康教育・食育課

企画官 関 百合子氏

「子供の見守り活動の推進について」

「スクールガードリーダーへの協力をお願いします」

文部科学省総合教育政策局男女共同参画共生社会学習・安全課安全教育推進室

室長補佐 打田 剛氏

「不登校児童生徒の教育機会確保のために、今すぐでできること」

一般財団法人クラスジャパン教育機構

理事長 中島 武氏

〔パネルディスカッション〕

「これからの学校教育について」

パネリスト

文部科学省初等中等教育局財務課長 合田 哲雄氏

合田 哲雄氏

公益社団法人日本PTA全国協議会

顧問 東川 勝哉

コーディネーター

公益社団法人日本PTA全国協議会

会長 佐藤 秀行

〈議題〉

1. 調査研究委員会より報告
2. 社会教育推進委員会より報告
3. 家庭教育支援委員会より報告
4. いじめ防止対策委員会より報告



関 百合子氏



打田 剛氏



中島 武氏

パネルディスカッション

これからの学校教育について

令和2年2月20日(木) 14:25~15:45

国立オリンピック記念青少年総合センター センター棟 101号室

パネリスト:

文部科学省初等中等教育局 財務課長 合田哲雄 氏
公益社団法人日本PTA全国協議会 顧問 東川勝哉

コーディネーター:

公益社団法人日本PTA全国協議会 会長 佐藤秀行

教職員の働き方改革

合田課長 このままの状態
で学校現場の働き方が変わ
らないと、教職を目指す若

冒頭、佐藤会長より今回の
ディスカッションについての
説明があった。その中で、「文
部科学省から提示される新し
い取り組みについて学校現場
では時に混乱や反対意見が多
く出る場面がある。どのよう
な議論を経て新たな方針が決
まっているのかを中央教育審
議会の委員である東川顧問と
文部科学省の意見を合田課長
からお話頂き協議会代表者の
皆さんに知ってもらい教育現
場に伝えて頂きたいと思いま
す」との趣旨説明があった。

最初の議題として「教職員の
働き方改革」についてディ
スカッションがなされた。



佐藤会長



合田 哲雄氏

者が減ってしまうという危
機感をもっている。週休2
日になる前は、夏休みに連
続10日以上休みをとれる
ことが魅力の一つであった。
中教審の部会の中で東川顧
問には、学校が行う業務に
ついて区分けをし、更に外
部に委託できないかなどの
議論をしていただきました。

東川顧問

学校における働
き方改革特別部会に参加し
ていましたが、家庭教育で
行う事、社会教育で行う事

合田課長

2013年以降
小学生の暴力行為が急増し
ています。語彙力の低下に
よるコミュニケーション

がそれぞれあると思う。保
護者、地域の皆さんに3つ
の事をお願いしたい、①学
校教育目標を知ってもらい
たい②保護者に子育ての当
事者としての意識を持って
もらいたい③学校の先生の
悪口を言わないでほしい。

これからの教育環境について

合田課長

東川顧問には、
会議で言にくい事を言っ
ていただきました。学校現
場で大事なことは、時間の
マネジメントであり教職員
保護者と共に考えていく必
要がある。AIが将来の職
業を奪ってしまう話があり
ましたが、それはないよう
です。浮足立つことなく日
本の学校教育が重視してき
た部分が重要になってくる
と思う。語彙力が低下して
いる問題は、スマホの普及
が影響しているようだが家
族との会話が重要になって
くる。また、学校と家庭の
連携がますます重要になっ
てくる。

東川顧問

語彙力について
対策などを詳しくお話を
ください。

GIGAスクール 構想について

佐藤会長

次の話題です。
の低下から感情のコント
ロールが出来なくなってい
ている。

合田課長

日本には、小学
校が2万校、中学校が1万
校あり、年間のコストは概
ね10兆円、教職員が68万人、
給料が4・2兆円そのうち
3分の1の1・2兆円は国
庫負担金です。他方で施設
の整備費は、市町村が負担
しています。エアコンやパ
ソコンを導入する際に、国
から出す予算を補助金や国
庫負担金であれば、目的の
通りに支出しなければなり
ませんが、地方財政措置、
地方交付税交付金となりま
すと、都道府県知事、市町
村長の判断がないと使うこ
とができません。今回の補
正予算で2318億円の予
算がつけました。一人一台
の情報端末の設置について
強力に進めて行く。子ども
達の学びの機会が充実でき
ると思う。一方で教職員の
配置、教育課程の弾力化、
免許制度の抜本改革等が必
要になってくる。全国学力・
学習状況調査についても遠
くない将来に紙と鉛筆から
情報端末に変わっていくと
思う。ペタラン教師の大量
退職時代を迎えて、若い教
師の為に教育ビッグデー
タを利用し子ども達に細や
かな指導ができるようになる。
情報端末の利用状況を
世界の子とも達と比較する
と日本の子ども達はSNS
のチャットとゲームに偏っ

佐藤会長

て利用している。PT
Aの皆様には地方自治
体の方と連携しながら
子ども達をゲームやS
NSのチャットから取
り戻す事が最大の目的
となります。

合田課長

教育ビッグ
データと歯科検診のお
話をお願いします。

合田課長

教育ビッグ
データを使い子ども達
の日々の学力、意欲や
関心についても把握で
きるようになる。併せ
て歯科検診など身体機
能についてのデータを
見る事で虐待やネグレクト
がないかを把握できる可
能性がある。

佐藤会長

様々な機会をと
らえて、いじめで苦しんで
いる子ども、不登校で悩
んでいる子どもを一日でも早
く助け出したいと思う。直
接助けには行けないが、様々
な情報を各協議会に伝える
事で解決の糸口になれば
いい。働き方改革もGIGA
Aスクール構想もすべては
子ども達の為にどうしたら
いいのかを考えるものだ
と思う。

合田課長

今回の情報端末
の国の措置は3人に2台分
の補助であって、1台分は
地方自治体が負担するよう
になる。メーカー各社に高
性能の端末ではなく丈夫で
余計な機能のないものを開
発してほしいと要望してい
る。

佐藤会長

各協議会の皆様
には、地方自治体の首長さ
んや教育長さんに今日の話
をお伝えください。

質疑応答

以上でディスカッションは
終了し、質疑応答になった。

Q 地方自治体に話をする際
に、何の話に来たと言え
ばいいのか。

A GIGAスクール構想と
言ってください。

Q 教職員の定数と給料の見
通しについては。

A 今年是全国で1729人
の増加。給与の額は他の公
務員に比べて多くなってい
るが、時間外が多くて見合
わなくなっている。教科担
任制や部活動の外部委託な
どを検討している。

合田課長、東川顧問のやり
取りの中から国が進めている
方針の細かな部分について、
どのような思いで作られてい
るのが良く理解できたと思
います。参加された各協議会
の代表者の皆様も各地方自治
体に対しても要望を出してい
きたいとの声も聞かれました。

